

田辺かずき 市政報告

オール古賀を実践！
まちづくり推進中！

県市通算第58号
(市政第4号)

2020年8月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■温かみのある行政を展開
■力を合わせて乗り越える

全児童・生徒にPC端末配備

修学旅行の感染防止費も助成

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、古賀市はこれまで事業者支援をはじめ様々な対策を講じてきました。これらに加え、7月の市議会臨時会では、市政運営の理念である「チルドレンファースト」の推進と



今年度4回目の補正予算を提案=7月15日、市議会本会議

経済的困窮対策の強化を念頭に置いた今年度4回目となる補正予算を私から提案し、可決していただきました。小中学校におけるICT教育を推進する環境を整備するため、古賀市は年内に全ての児童・生徒に1人1台の端末を配備します。当初は4年かけて学年ごとに段階的に配備する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で臨時休校などの際のオンライン学習の必要性が高まり、前倒しを決めました。先行して着手している校舎に無線LANを設置する工事も、年内に全校で完了する見込みです。さらに、現在各

教室に設置している旧式のブラウン管テレビを大型モニターに更新し、ICT教育の実効性を高めます。

なお、全ての中学3年生に先行配備する学習支援ソフトを導入した端末（5月成立の補正予算に計上）については8月上旬に各学校で配布。コロナ禍での受験に向けて家庭学習に存分に活用していただき。これにより、万が一再び臨時休校や分散登校になっても、中学3年生はオンラインによる学習支援が可能となっております。

また、小中学校の修学旅行で「密」を避けるため、借り上げバスの2人掛けの座席に児童・生徒が1人ずつ座ること必要な台数が増える経費について、

市が負担することを決めました。「子どもたちの経験（思い出）+感染防止策+保護者支援+需要喚起（事業者支援）」を目的とする施策です。

さらに、古賀市はひとり親世帯への独自支援として6月に5万円を先行して給付しましたが、追加支援を実施します。

これらの取り組みを速やかに実行するとともに、引き続き、市民の皆様の生活を守るための支援策、ウイズコロナ（コロナとの共生）やアフターコロナ（コロナ後）のまちづくりを意識した更なる取り組みを検討していきます。

善意をつなぐ

多くの事業者・個人の皆さまから感染症対策に必要なマスク、消毒用アルコールなどの物資を寄贈していただいています。「マスクでつなぐ環（わ）プロ

私のFacebookやTwitter、Instagram、LINEといったSNS、ブログ、古賀市HPなどで、連日、新型コロナ関連をはじめ市政情報を発信しています。現在は時々刻々と状況が変化する有事であり、これらをチェックしていただけると幸いです。

こちらの二次元バーコードからもご覧いただけます



ジェクト」にも多くのご協力をいただきました。市内の医療機関や保育所・高齢者施設、妊娠中の方、医療的ケアが必要なお子さんのいるご家庭などへ責任をもってつないでいきます。また、市として寄附のプラットフォームを設けています。心から感謝申し上げます。

「心」を大切にした取り組みを展開、先進技術の活用促進も

古賀市の主な独自策等（6～7月）

※2020年7月末現在

《チルドレンファースト》

- 中学3年生に1人1台端末の確保
- 年内に全ての小中学生に1人1台端末を配備
- 全ての普通教室に大型モニターを設置
- 修学旅行における感染症対策費用を助成
- 小中学校の消毒作業を行う臨時職員を採用



《経済的に厳しい状況を支える/事業者支援》

- 高校生などがある生活が厳しい世帯へ高校生ひとり当たり1万円を給付
- ひとり親世帯への追加支援
- 中小企業等応援金
- 創業者応援金
- 児童福祉施設等の感染対策費用を助成
- 古賀エールチケット第2期



《心を大切にした取り組み》

- 恩師からのエールをまとめたリーフレット送付
- 「お元気ですか」メッセージカード活用
- マスクでつなぐ「環」プロジェクト
- シトラスリボンを全市へ拡大
- 「おうちで花火」
- 市内中学・高校の吹奏楽部の演奏会を開催
- 中学3年生の交流試合を実施



これまでの取り組みはこちらからご覧いただけます！

田辺かずき SNS

市政報告第3号



他にも多くの取り組みを推進しています。詳しくは古賀市のホームページをぜひご参照ください。

温かみのある行政

古賀市は新型コロナウイルス対策で「心」を大切にしています。ITの活用だけでなく、アナログ手法で創意工夫し、市民の皆さんとつながることも大切です。市独自の高校生生活支援金の申請書を全家庭に送付する際は、中学時代の恩師からの応援メッセージのリーフレットを同封しました。外出抑制が続く高齢者世帯とのやり取りには双方方向の「お元気ですか」メッセージカードを活用。また、市民の皆さんに自宅などから花火を楽しんでもらおうと、古賀市観光協会さんのご尽力による特別企画「おうちで花火」が実現できました。

コロナによる差別や偏見を許さず、「感染しても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるように」との思いを込めた「シトラスリボン」を広げるプロジェクトも展開しています。

学校消毒の新体制を構築

子どもたちの学習環境の安全・安心のため、市内各学校の消毒作業を行っています。先生方のみで実施していましたが、7月から新たな体制を開始。保護者の皆さん、地域の皆さんのご協力をいただき、放課後、教室の机やイスなど校内を消毒。臨時休校の影響で年間スケジュールがきつくなる中、先生方がしっかりと授業の準備をし、子どもたちに向き合える時間を確保することができますように。

りました。

テレワークを本格導入へ

古賀市はテレワークの本格的な導入に向けて実証のための取り組みを進めています。様々な課題がありますが、フリーアドレスデスクやフレックスタイム制に向けた時差出勤を実施している上下水道課で先行し、成果が見られたため建設産業部に拡大。現在、全庁的な導入のための検証の段階です。また、災害現場からのリモートによる報告も実践し、成果と課題が分かりました。先端技術を生かした市政運営につなげていきます。

誰もが安心して産み育てられるまちへ

古賀市は今年度から全ての初産婦を専門職（助産師・保健師・管理栄養士・保育士）が訪問する事業「くるサポ訪問」を始めました。産後だけでなく産前から支援。希望する妊婦さんには2人目以降も産前から寄り添います。新型コロナウイルスで増大する不安の払拭も図ります。

中学3年生に「集大成」の場を

市内の中学校3校（古賀・古賀北・古賀東）と高校2校（古賀竟成館・玄界）の吹奏楽部の演奏会が、古賀市文化協会さんのご尽力と多くの皆さんのご協力で8月1日に開催されました。観客は保護者など関係者のみとし、1校ずつの演奏後は換気・

消毒を徹底するなど感染防止策もしっかり講じました。また、中学校の運動部についても9月目3年生の交流試合を開催しました。古賀市は市民の皆さんのおかげで子どもたちの育ちと学びを支えられていると実感します。心から感謝します。

「コロナに負けない！」モザイクアート

古賀竟成館高校の生徒の皆さんが「コロナに負けない！」との願いを込めたモザイクアートを完成させました。左の写真。「コロナ（567）を超えて、前を向いて元気を出して頑張ろう」と、生徒や先生に自らの想いを込めた絵や文字の作品を募ったところ、573枚が集まりました。生徒たちの「志」を大切にしたい今回の取り組みは、自主性、主体性、積極性が育まれていることをあらためて実感する機会になりました。

